

# 2023春 修了生アンケート

- 実施期間：2023年3月20日(月)～2022年4月2日(日)
- 対象者：2023春修了生 計56名
- 回答者：47名
- 回答率：84%

## ① 満足度

- ✓ 遠隔教育
- ✓ 学びの内容
- ✓ サポート体制
- ✓ 受講効果

## ② 学習環境

- ✓ 学習時間
- ✓ 仕事・家庭との両立
- ✓ 交流

## ③ 今後

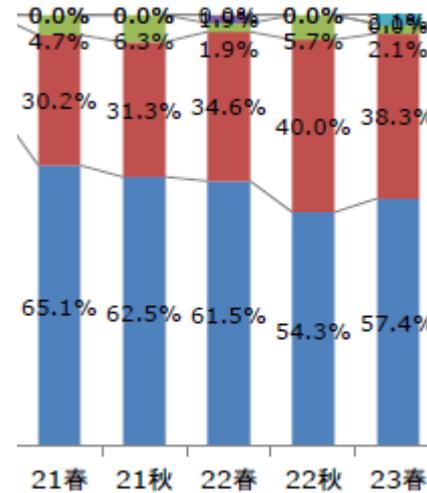
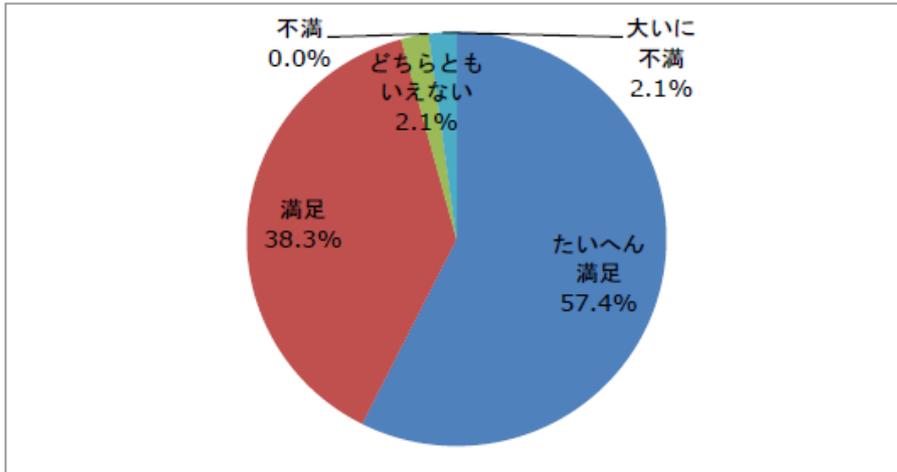
- ✓ キャリアの方向性
- ✓ BBTへの期待
- ✓ アルumni、紹介者制度
- ✓ 会社の制度

※今後入学時からの推移を見ていく項目

- ✓ 役職
- ✓ 年収

# ①満足度(総合)

Q1.本学での経験について、総合的に見ていかがでしたか？



「大いに不満」は1名。  
自由記述欄で「講義内でひどい発言、偏見を助長するように受け取れる内容があったり、内容があまりにも古すぎる（2022年に受けた講義が、2016年に撮影された内容）ものもあった」とのこと。

Q2.上記の理由を教えてください。

## <多かった感想>

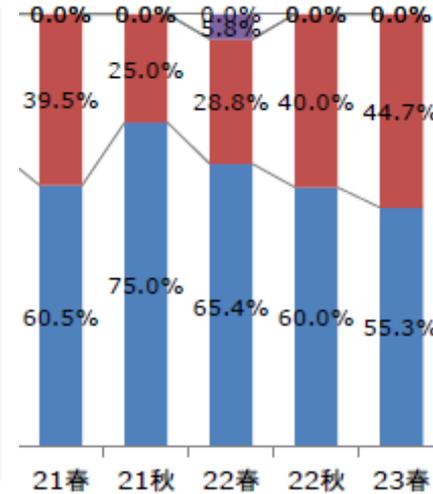
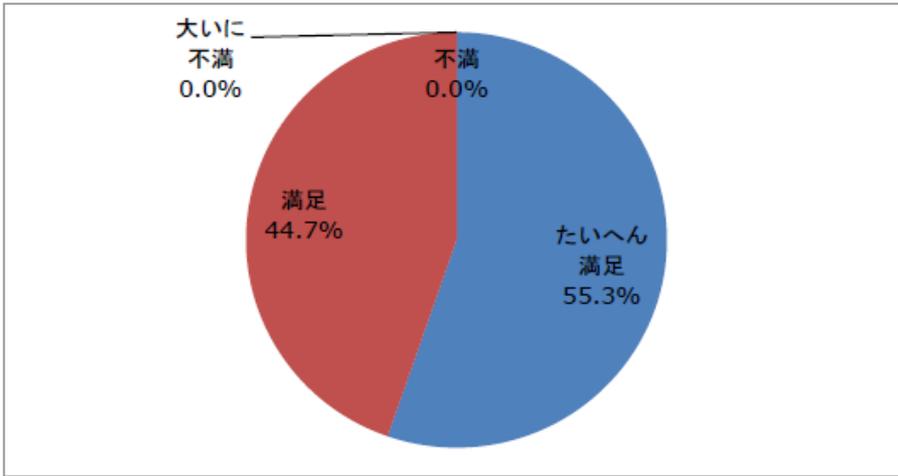
- ・ 経営に対する知見、**視野が広がった**
- ・ **実践で使える** 生きた学びを得られた
- ・ 学べるコンテンツが充実している
- ・ **学びが習慣化** した
- ・ **大きな自信** となった
- ・ 時間・場所を選ばない環境が良かった
- ・ 素晴らしい学友たちとの出会いがあった

## <意見>

- ・ 自分の能力や環境の制限により高い習熟度に至らなかった
- ・ やや古い映像の講義はモチベーションを上げることを妨げたと感じている
- ・ 卒業研究における合格基準が不明確
- ・ オンラインの特性からか学校の中で「気持ちを高める機会」が少なく、履修をこなすのに精一杯だった

# ①満足度(遠隔教育)

Q3.本学の遠隔教育はいかがでしたか？



コロナが落ち着いたためか、「大変満足」の割合が徐々に減ってコロナ前の水準になった。

Q4.上記の理由を教えてください。

## <感想>

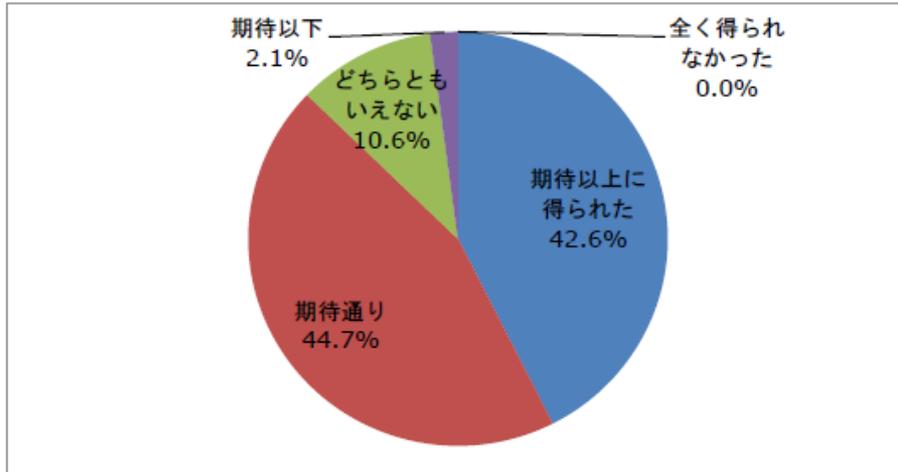
- ・時間と場所を選ばずに学習ができるという理想的な教育だった
- ・テキストベースなので議論にじっくり取り組める
- ・一方的な動画配信ではなく、ディスカッションフォーラムで学びを深められた
- ・サイバー空間でのリーダーシップとはどういうものか身をもって感じる事ができた

## <意見>

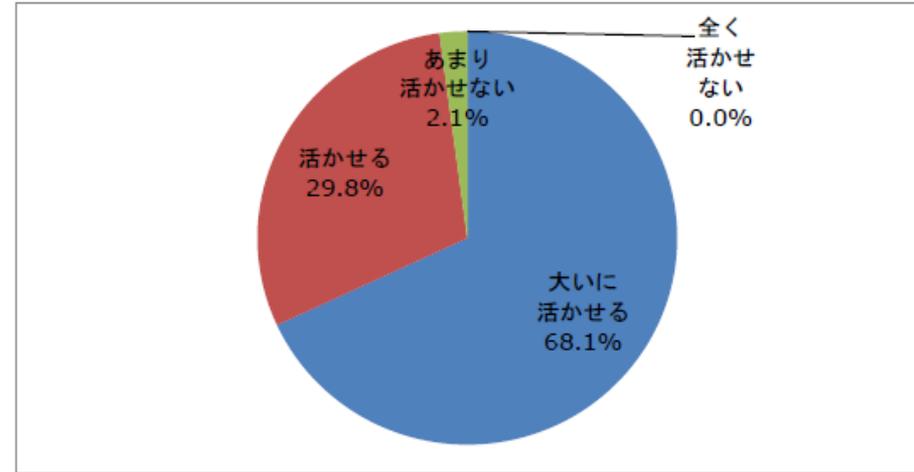
- ・中には、音声不明瞭で聞き取りにくいものがあったのが残念だった。
- ・リアルでの対面授業や教育機会ももっと組み合わせることができれば、更に学習効果も向上したように思う
- ・スマホアプリが重すぎる (使用端末iPhone13)

# ①満足度(学びの内容)

Q6.入学当初期待していた学びは得られましたか？



Q7.今後に活かせると思いますか？



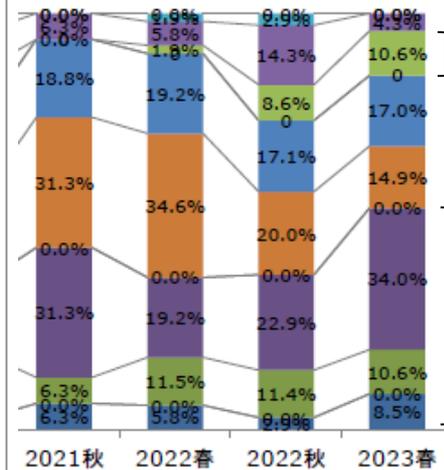
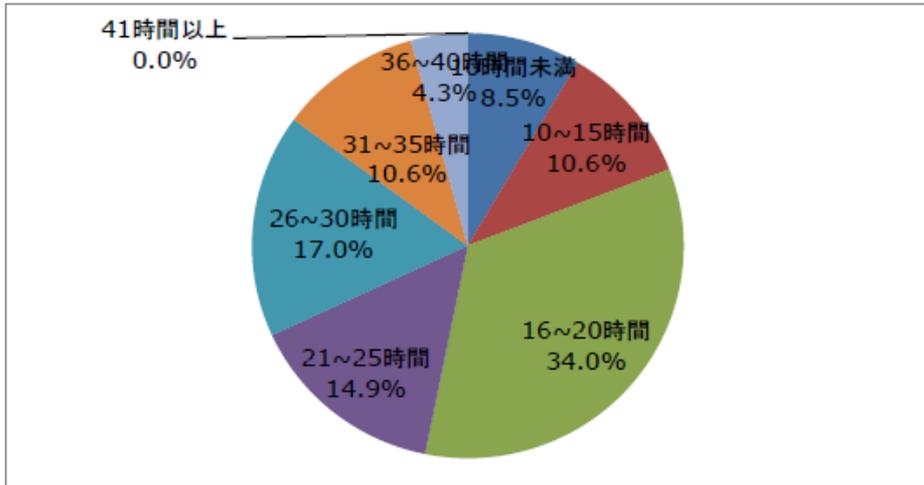
「期待以下」「あまり活かさない」は山下さん。入学当初期待していた学びの内容が「マネジメント能力」で「入学当初と現在では立場が変わったため」か。成果に繋がった事例も一人だけ「ない」。

Q9.本学での学びが、自社での成果に繋がった事例>

- ・ 会社の**選抜研修に抜擢**された
- ・ チームの**メンバーへの自社課題の説明**もスムーズに行うことができた
- ・ 顧客の経営戦略・事業戦略から自社が提供する**サービスの必要性を提言**できるようになった
- ・ コンサル会社を利用しないで小さい規模ですが**M&Aを成功**させることができた
- ・ 事業のDX化の提案が社内を通り、根本的な事業の**変革プロジェクトがスタート**した
- ・ 新規事業を立ち上げたら**部署化**された
- ・ **転職し未経験職(アナリスト)となった**が、RTOCSがそのまま実務に活かした
- ・ **企業内大学**の立ち上げ

## ②学習(時間)

Q17. 1週間に何時間程度勉強していましたか。(平均的な「1週間」の学習時間)

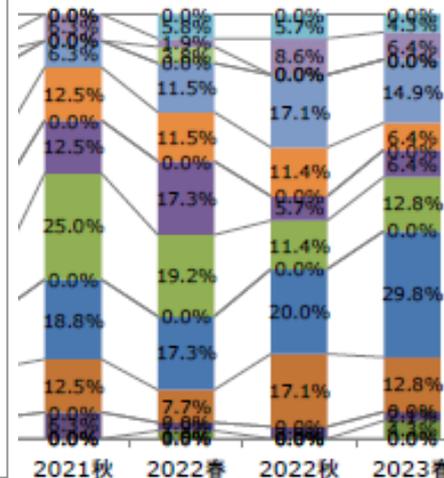
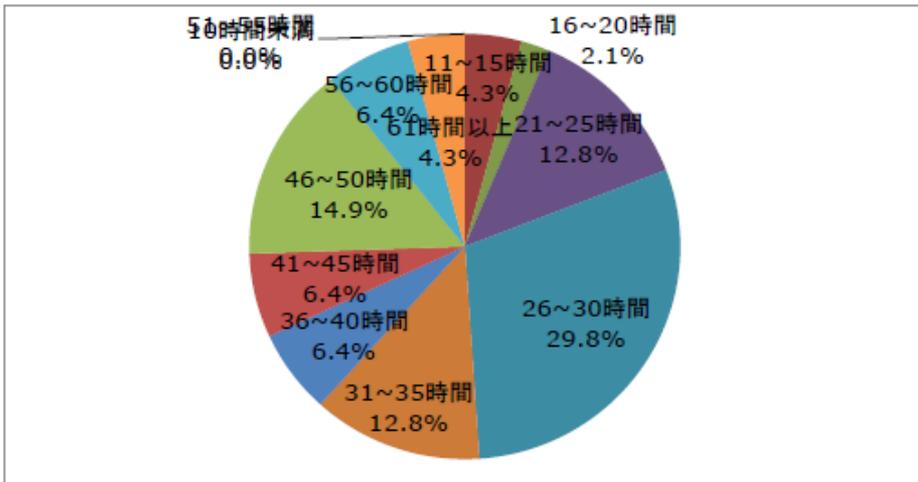


週30-40時間が14.9%

二極化

51.3%が週20時間未満  
(過去3回は34-39%)

Q18. 1週間に何時間程度勉強していましたか。(レポートが重なるなど、最も忙しかった時期)

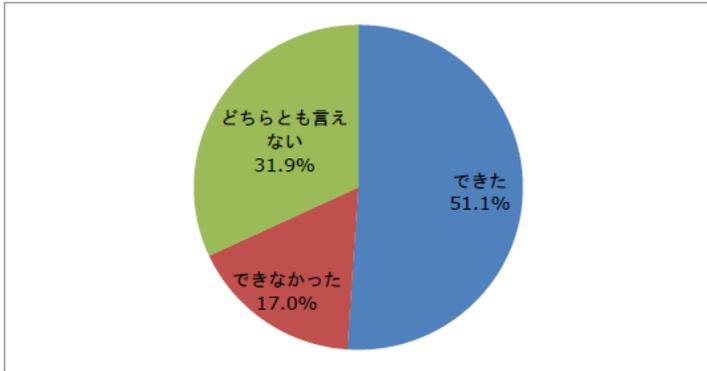


週50時間以上が10.7%

49%が週40時間未満  
(過去3回は29-40%)

## ②学習（仕事・家庭との両立）

Q19.学習と、仕事や家庭を両立（三立）させることができましたか？



Q20.両立（三立）させるために、工夫した点があれば教えてください。

<両立の工夫～うまくやるver.～>

- ・スキマ**時間の活用**
- ・土日の時間を活用
- ・有給をうまく使う
- ・時間を決めて集中
- ・仕事をなるべく早く切り上げる
- ・テレワークにして無駄な準備時間をなくす
- ・**やらない時間**と休みの日を決めておく
- ・スケジュールの管理を工夫、**優先順位**を決める
- ・心が折れないように部屋に花を飾る
- ・単科による事前受講
- ・仕事を誰かにお願いする
- ・周囲に在学中であることを提示

6割

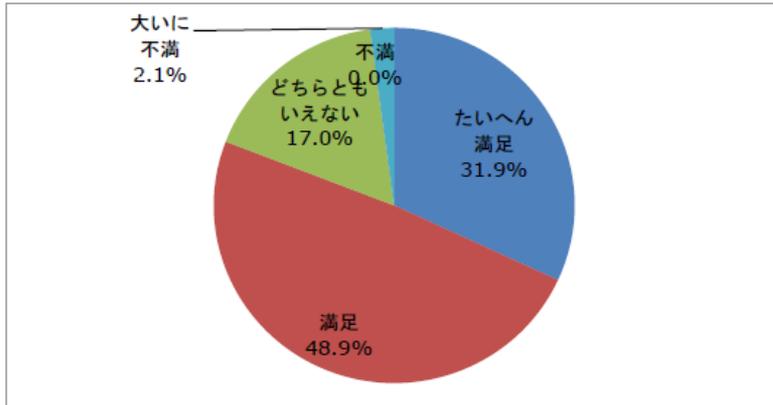
<両立の工夫～何かを削るver.～>

- ・**SNS**をストップ
- ・**睡眠時間**を削る
- ・**飲み会**回避
- ・**仕事**の量や立場を軽減
- ・**趣味**の時間を削る
- ・**家庭**のウェイトを下げる
- ・仕事やプライベートでの過剰なサービスは抑える

4割

## ②学習(サポート)

Q10.教務部からのサポート、諸連絡、ルール運用など運営面は満足のいくものでしたか？



自由記述欄に「不満のある内容の講義でも成績開示前にアンケートの締め切りがあると疑心暗鬼になって本音を書けない。」

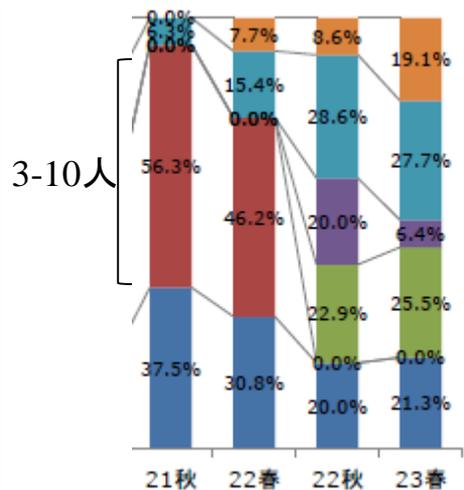
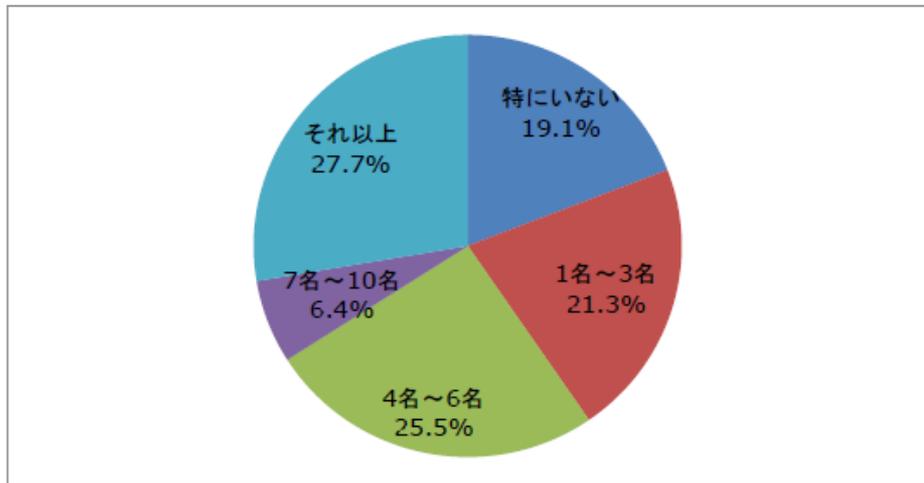
Q11.教務部や事務局に改善して欲しい点がありますか？

要望記載あり：18名

- ・生徒同士の交流のきっかけをもう少し欲しい
  - ・マニュアルを読む以外にも、直接の説明や質疑時間をもっと増やしてもらいたい（もしくは動画やUIでわかりやすくしてほしい）
  - ・履修している授業の難易度も適切か判断がしづらいので、アドバイスが欲しかった
  - ・メールでのリマインドや回答はより正確に丁寧にしていただきたいと思う
  - ・ご案内を見落とししてしまうことがよくありました。重要項目については、「応答」機能を追加していただけると見落としが減るのでは
  - ・土日でも連絡がつながるようになるとよいです
  - ・卒論担当教授のタイムマネジメント
  - ・修了式の日程をもう少し早く（できれば1ヶ月以上前）ご案内いただくことをご検討いただければ幸甚です
  - ・制度面のサポートがあればもっと有効に活用できたと思う（補助金、エアサーチ、BBTの使い方）
  - ・事務局連絡はただお知らせに載せるだけではなく、メールが送付される仕組みを作った方がいい
  - ・システムでの一斉発信の際に届かないことがあったり、スマホのACではお知らせが表示されてなかったりの点
  - ・UIが古い。講義映像や資料が古いなど今のご時世に沿わない場合の修正・補足対応してほしい
  - ・古い講義は、事実関係が古くなっている部分があるため、収録がいつなのかはそれぞれ示してほしい
  - ・ディスカッションのテーマや試験問題の表現がわかりにくいところが多少ありました。
- 何をしたら良いのかを簡潔にいただけるか、例文を入れるなどするとイメージがつきやすくなるのかもしれない。

## ②学習(交流)

Q22.今後も付き合っていきたい仲間は何人くらいできましたか？



「できなかった」10.1%

**二極化**

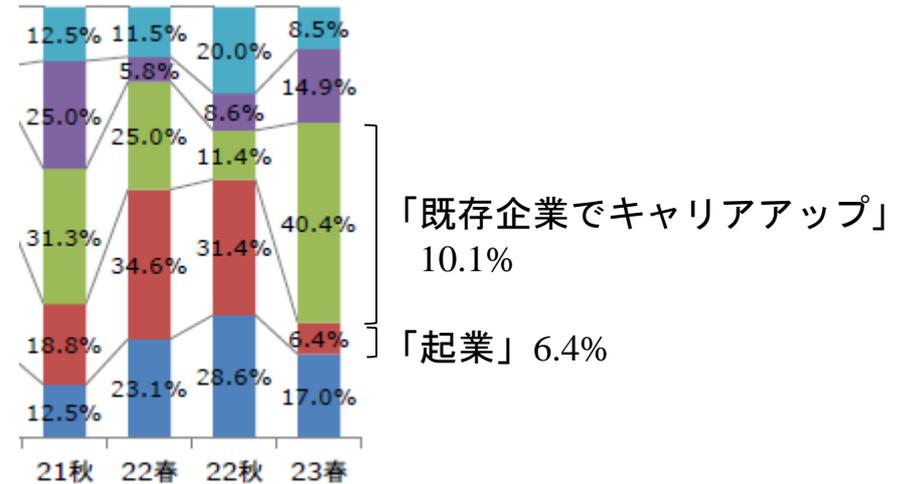
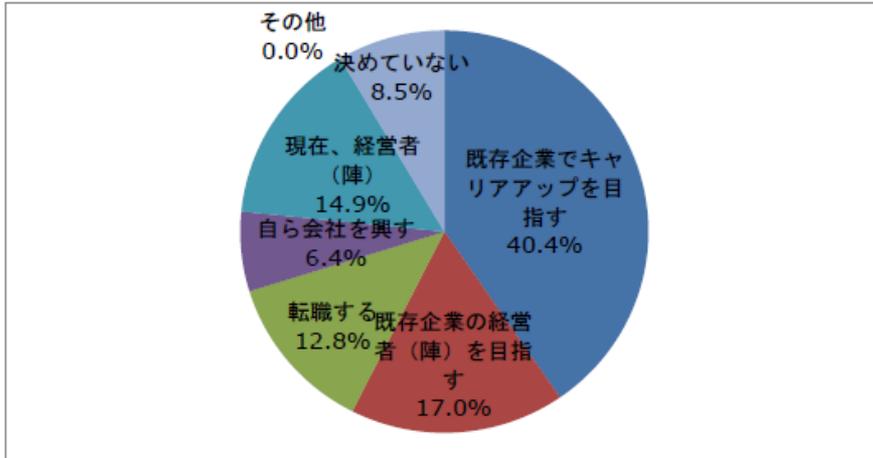
「11人以上」27.7%

Q23.在校生・修了生との交流が、ご自身のビジネスで活きたエピソード

- ・ 同様に中小企業にお勤めの方がいて、それぞれの立場でのご意見を伺うことで **仕事での判断に反映** できた場面があった
- ・ 現職のアナリストとして必要な情報をあらゆる業界の方に **ヒヤリング** させてもらった
- ・ 新規事業で考えていた内容はかなりマイナーで周知されていないものだったが、学友の親族が経験しており、その感想を聞く機会が与えられて **確信** が与えられた
- ・ 自分が企画した **イベントに参加** いただいたり、自分の **仲間同士を繋いだり** することが出来た
- ・ 自社のセミナーに同期で卒業したメンバーが、参加してくれました
- ・ **リファラル採用** の可能性がある
- ・ インドネシア在住のBBT関係者の交流により、 **人脈** がひろがった

### ③ 今後(方向性、BBTへの期待)

Q24.現時点での将来の方向性は？

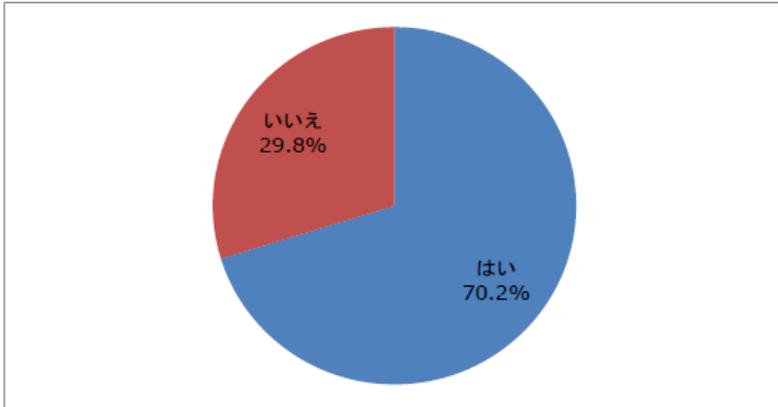


Q27.今後、BBTに期待することはありますか？

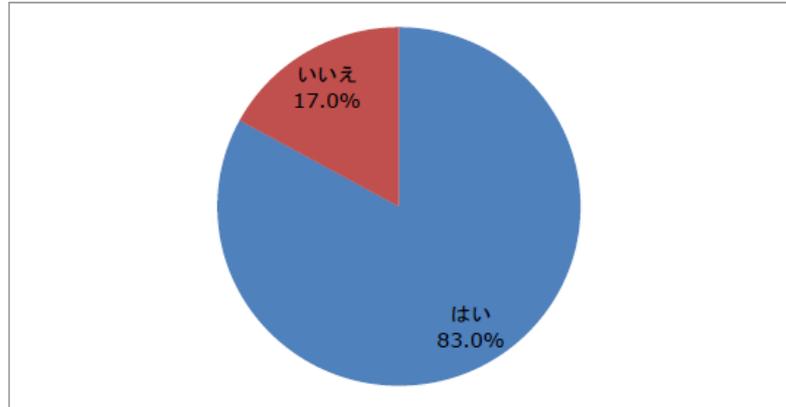
- ・ 交流機会の拡大
- ・ オンラインでの学びの機会
- ・ 卒業生の相談窓口
- ・ 実務への活用事例を紹介する（または議論する）ような機会を設けてほしい
- ・ 卒業生同士のインタビューシステム
- ・ 8月から9月、2月から3月の期間も有効に使えればありがたい
- ・ 講座受講者の人数の適正化、多すぎるのはやりにくい
- ・ ニュースピックのような、興味を引くデザインにして欲しい
- ・ BBTの講義で興味のあるものを受講したい
- ・ 継続教育のパッケージプランのプライスダウン
- ・ 知名度向上、BBT大学院のブランドの確立

### ③ 今後(その他)

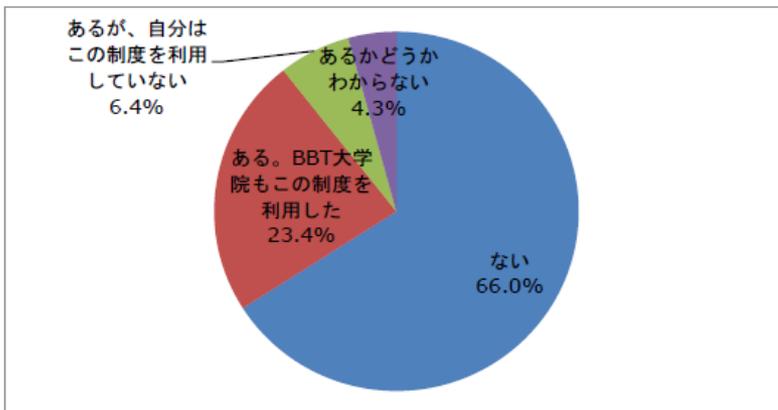
Q28. アルumniで受けられるお得なサービスがあることをご存知ですか？



Q29. 紹介者制度についてご存知ですか？



Q30. あなたの会社には、MBA取得に関する学費援助制度や休職制度はありますか？



## ★その他メッセージ★

素晴らしい学びが出来た。素晴らしい教授と出会えた。素晴らしい学びの仲間から刺激を受けながら学ぶことが出来た。非常に大きな自信となった。

入学当初はペースが掴めず、教務部の方との面談で心が救われました。感謝でいっぱいです。

入学から卒業までの2年間で2回転職しましたが、両方ともBBTの学びで転職できました。最終的に挑戦したかった環境経営サルタント職に入りました。

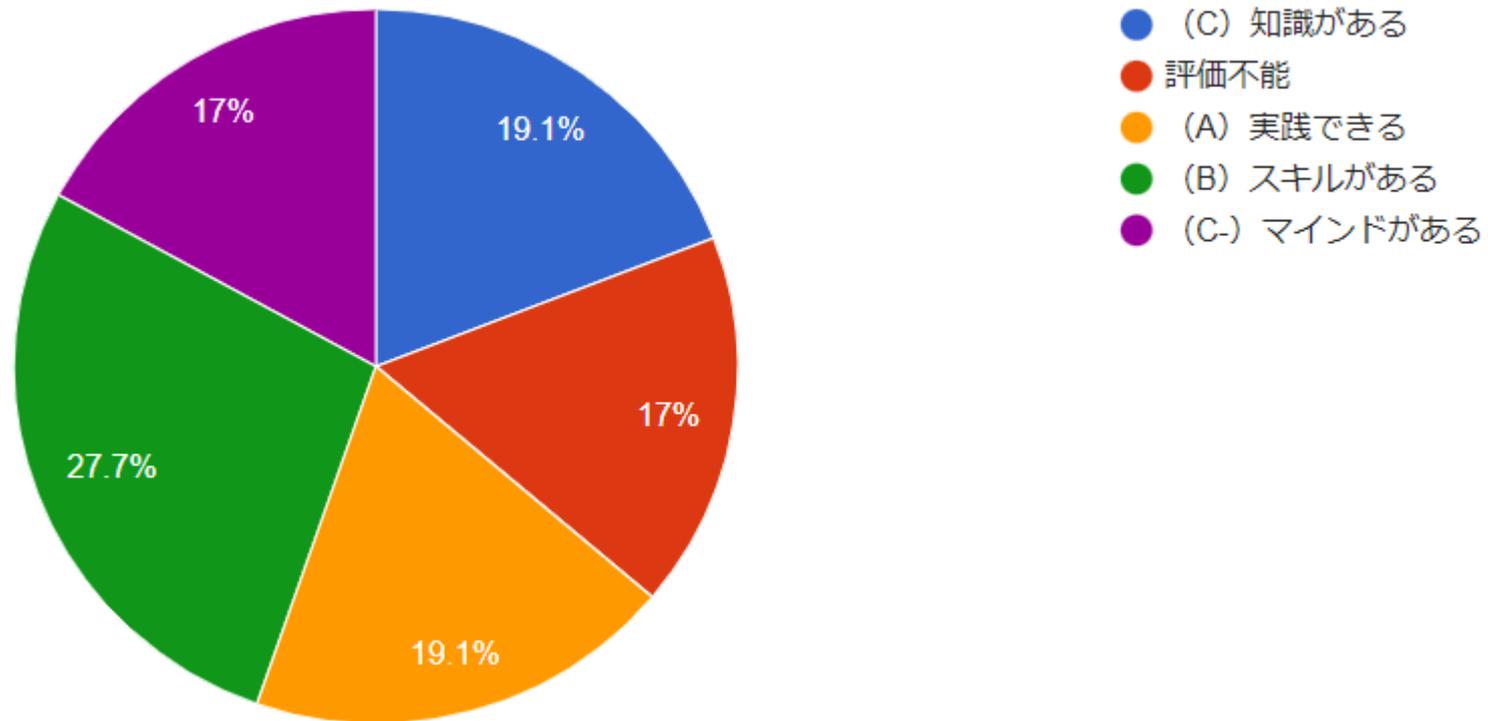
ある人に聞いたのですがグロービスは1,000人規模の在校生がいるとのこと。話を聞く限り、同校はBBTに比べてかなり楽。BBTの方がキツイ感じがする。期待というよりは、我々修了生がその後の成果でBBTの成果を示したいと思う。

我々卒業生も現場でがんばりますので、ビジネス・ブレイクスルーが我が国のリカレント教育をもっと牽引して、その名を国内に轟かせてほしいです。

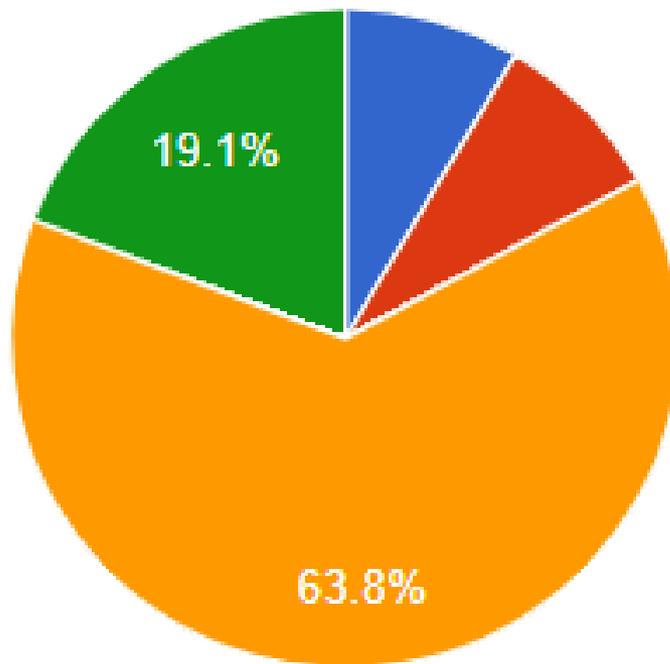
これからも時代の最先端を走ってください！

大変有意義な時間をくださり、大好きなBBTなので、もっと色々な方にこの魅力を知っていただきたく、さらに知名度がアップすることを期待します。オンラインでMBAをと他者に話すと、第一声は競合の学校名を言われてしまうので、そこでBBTが最初に出てくるよう、卒業生としても頑張ります。

経営学全般に精通し、獲得したスキル・実践力等の能力を駆使して、世界とくにアジアでビジネスを行い、結果を残すことができる。

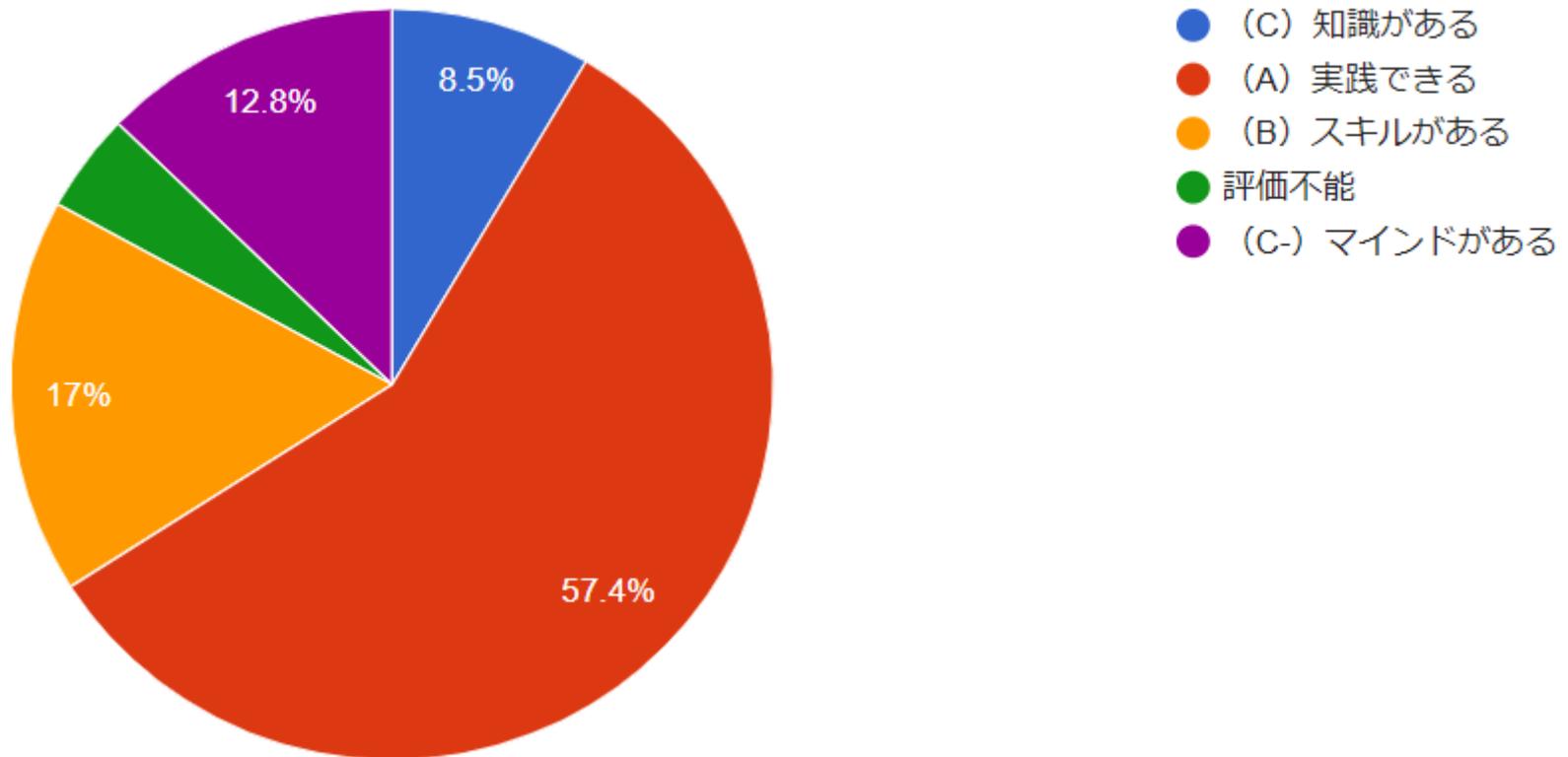


自ら問題を特定し、その解決方法を判断し、戦略的に行動できる

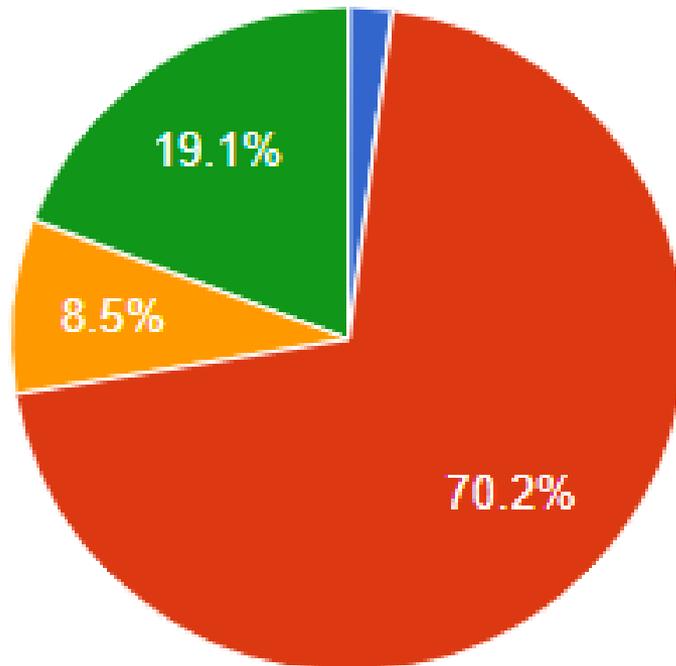


- (C-) マインドがある
- (C) 知識がある
- (A) 実践できる
- (B) スキルがある

高い倫理観とインテグリティを持つことができる

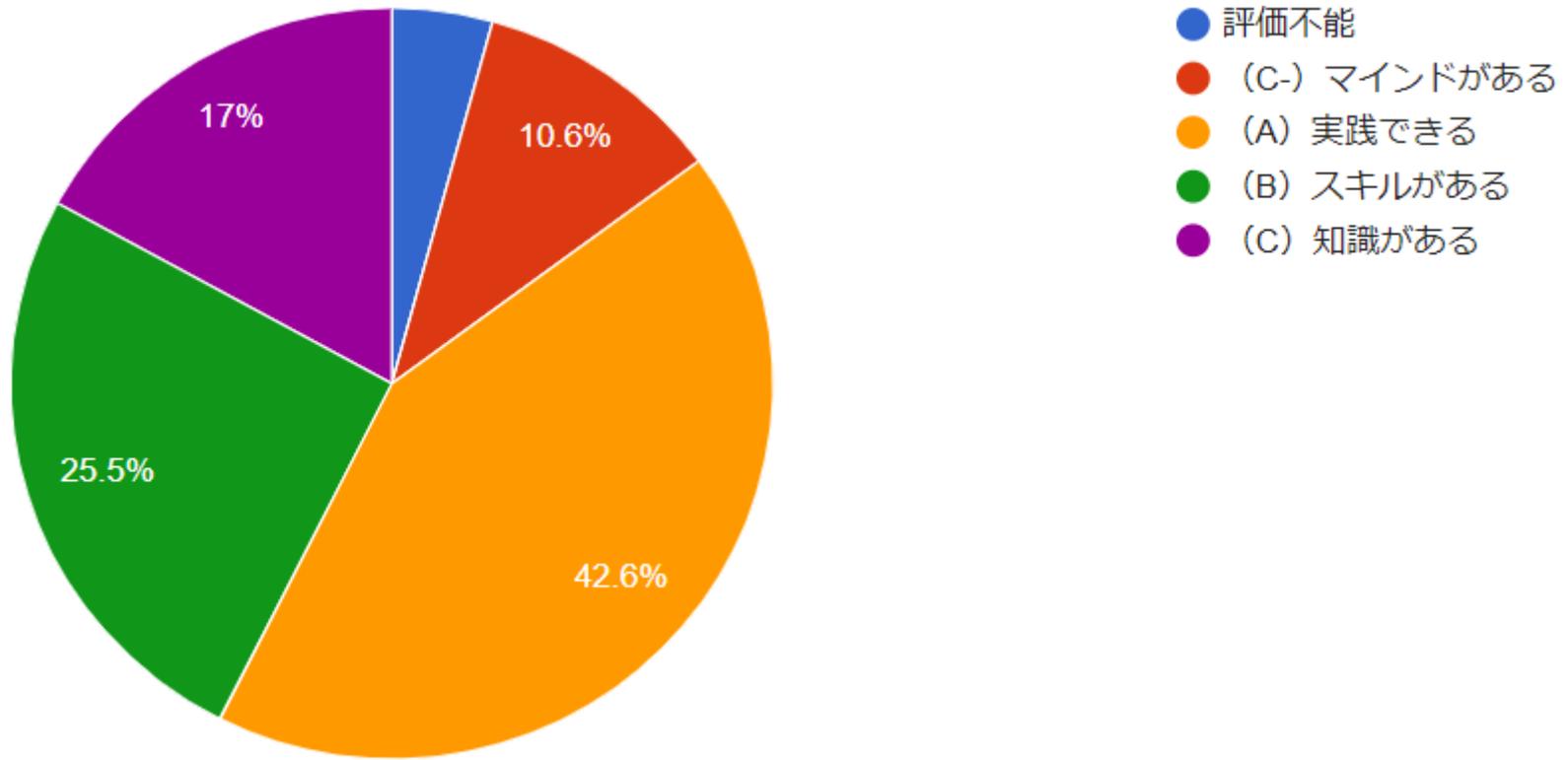


高い探究心を持ち、一生涯学び、仲間に伝承できる

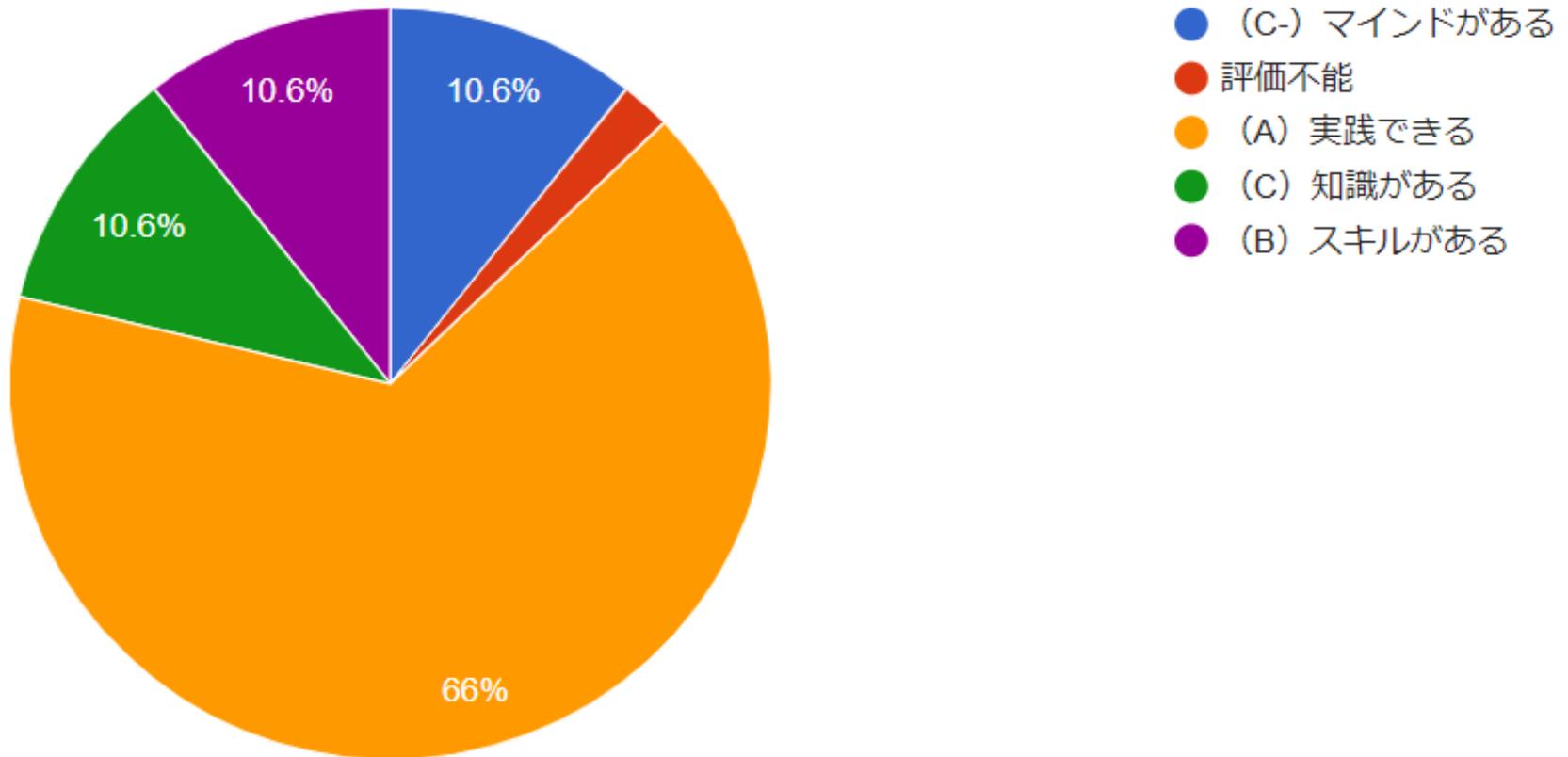


- (C) 知識がある
- (A) 実践できる
- (C-) マインドがある
- (B) スキルがある

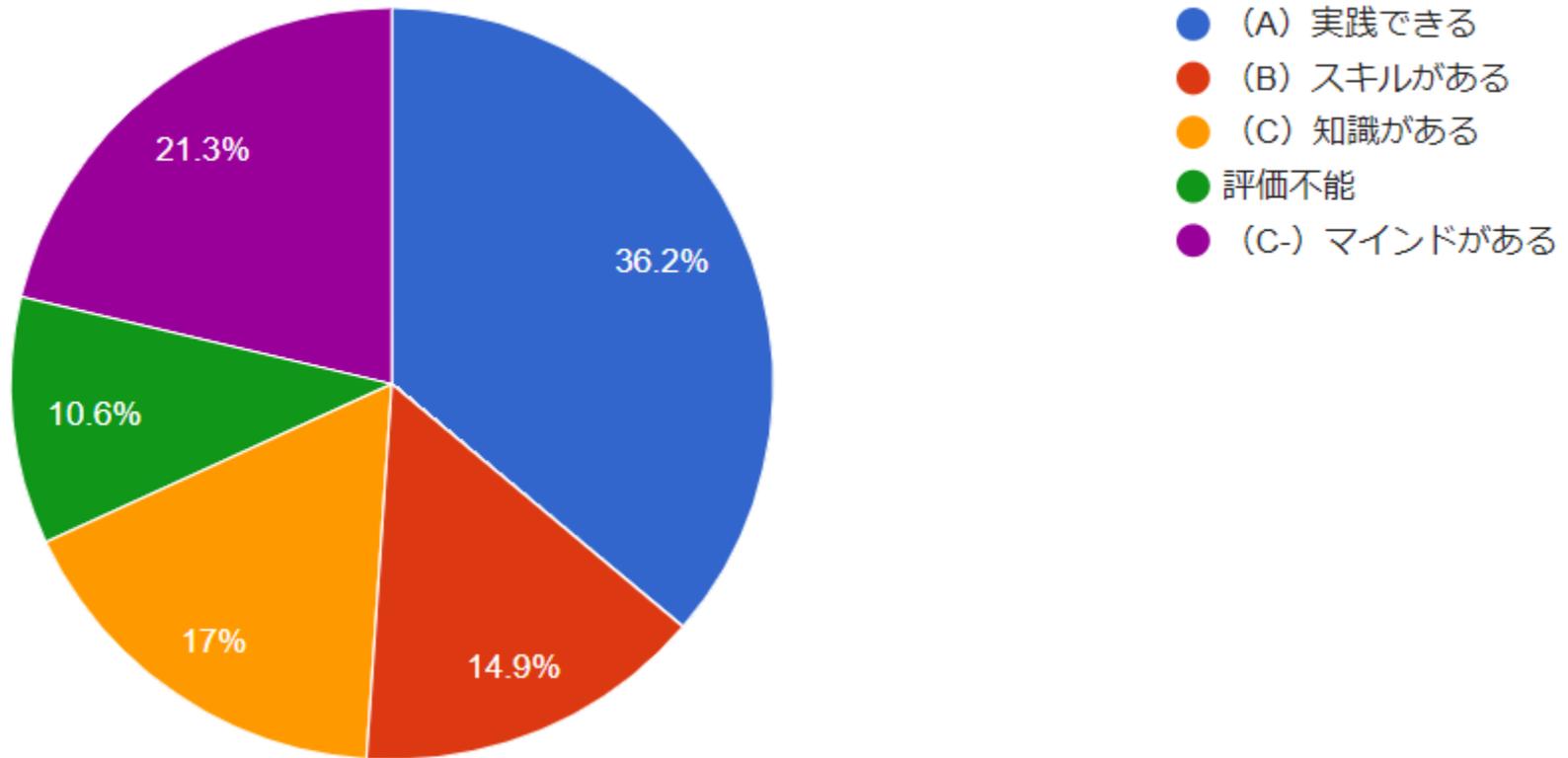
起業家精神を有し、新しい事に勇気をもって挑戦することができる



多様性を理解しながら、自省と協創を行うことができる



言語・国籍・価値観の多様なチームにおいて、円滑にコミュニケーションできる



グローバルな視点から組織の目指すべきゴールを策定し、リーダーとして牽引することができる

